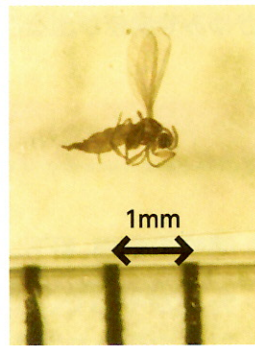


注意しましょう！！

クロバネキノコバエ

の大量発生について

多治見市では、平成22年から大量発生しています。
平成24年から平成27年にかけて対策等の調査を実施しました。

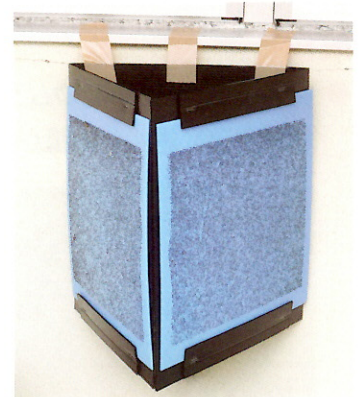


生態及び特徴

- もともと、日本全国に分布している。
- 幼虫のエサはキノコや有機質に富んだ土の中の腐食物。
- 幼虫期間は15～20日、成虫の寿命は4～10日。
- 成虫は体長1～2mm、黒色。
- 成虫の発生条件は温度30℃、湿度70%程度。
(最も発生しやすい時期は梅雨。秋にも発生することがある。)
- 早朝から午前中に発生しやすい。
- 成虫は明るいものに近寄ってくる習性がある。
- 不快だが、人体に直接的に害を及ぼした報告はない。

対策

- サッシの外側に日除けタープを設置し、風の流れを変える。
- 扇風機を設置し、窓やドアに成虫が近寄らないよう送風する。
- 捕虫効果のあるもの(捕虫シート等)をサッシの外側下に設置する。
- 網戸や窓・ドア等に忌避剤を噴霧する。
- 大量発生する時間帯は窓やドアを閉め切り、サッシ等の隙間を目張りする。
- 大量発生する時間帯は換気扇の使用を控え、室内の気圧を下げない。
- 室内に侵入したものは、粘着シートで捕まえる。



捕虫シートの設置



扇風機で送風



サッシに忌避剤を噴霧



隙間シートで目張り